

COMPANY DATA

本社住所 一宮市萩原町萩原字松山531-27
 創 業 1983年
 代 表 者 田中 孝昌
 従業員数 2,308名(2018年12月現在)
 企業URL <http://www.every24.co.jp/>
 業務内容 チルド食品(冷蔵品)専門の年中無休24時間配送業務及び
 配送センターによる一時保管・仕分・出荷などの流通加工、
 情報を絡めた流通提案業務

テレワーク対象職種 ・システムエンジニア(管理職)

導入のきっかけ ・重要な女性スタッフが結婚を機に出勤可能
 圏内ではなくなったため

導入後のメリット ・優秀な人材の流出を防ぐ



在宅勤務

上司がテレワークを提案し離職を止めた! 何もないところから試行錯誤で進めたテレワーク

社内の基幹システムなどの管理・開発や業務の根幹を担うサービスに従事するスタッフが退社することは企業にとって大きなデメリットであり、それがチームリーダーや管理職ともなれば、さらに大きなダメージになりかねません。そこで、そういったスタッフに家庭環境などに左右されず長く働いていただくためテレワークの制度を導入しました。

Voice 1

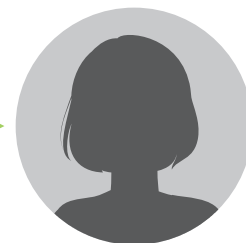


人事部 採用チーム
 課長 井口 業博 様

情報システム部の主任であるスタッフが結婚に伴い自宅を引っ越す必要があったのですが、優秀な方でチームの信頼も厚く、退職されるには惜しい人材でした。そこで、アイデアとして在宅勤務を上司が提案し、今のテレワークの制度ができました。最初は、試行錯誤で社内の理解を得るのに苦労しましたが、業務が円滑に進行しているのを見て、制度を導入したことは、間違っていなかったと確信しています。

Voice 2

結婚を機に関東へ引っ越すことになったので、仕事を続けることが難しいと上司に相談をしたところ、テレワークの制度(在宅勤務)の提案をしてもらいました。まさか、自分のために会社の制度ができるとは思わなくてびっくりしましたが、おかげで継続して働ける環境をつくってもらうことができました。今では子育てもいったん落ち着き、業務上の支障もなく働いています。



情報システム部 主任
 女性スタッフ 様

■ 優秀な人材は、いついなくなるかわからない

【井口様】 情報システム部の在宅勤務スタッフは、約10年前から在宅勤務をしており、当時はチームの厚い信頼を受けている主任でした。そのスタッフが、「結婚を機に関東へ引っ越さなければならぬ」と当時の上司に相談をしたため、「いなくなつては困る」と考え、上司が在宅勤務の提案をしました。もちろん当時は制度や、社内にテレワークの発想すらなく試行錯誤で発進したのですが、結果としては間違っていなかったと思っています。

評価とは、働く場所で決まるわけではない

【井口様】 スタッフにはシステム開発・サポートの業務に従事していただいておりますが、弊社では、PC・Webカム・マイク以外に携帯電話やiPadなどを貸与し、自宅と開発チームの拠点であるJPタワーにあるオフィスを経由して電話やWeb会議システム(Google Hangouts)などでつなぎ、コミュニケーションを図っています。

また、3か月に一度は本社に来てもらい(交通費支給)、対面での打ち合わせをしています。

システムの開発はひとりで完結できる業務も多くありますが、開発チーム全体で進行を共有する必要もあるので、このような体制になっています。また、サポート業務においても、各拠点からの問い合わせ対応などは電話などで対応していますし、業務としては大きな問題はなく遂行できていると聞いています。

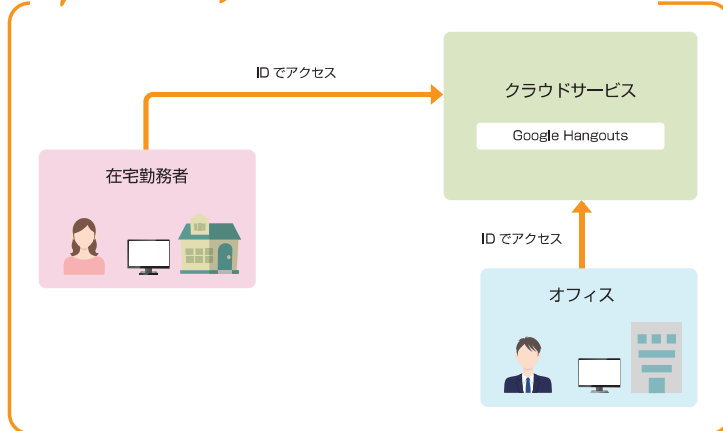
しかし、在宅勤務を始めたころは引越越し・出産などが重なり、本人も思うように時間が取れなくなり、いったん主任から一般職へ変更しましたが、今は育児も落ち着き、まとまった時間が取れるようになったため、上司も十分に評価に値すると判断し、また、役職に復帰していただき、チームの中で活躍してもらっています。

状況に応じて、できる仕事がある

【井口様】 システム開発はPCとネットワーク環境があれば、ある程度場所を選ばずに行うことができるので、特に在宅勤務には向いていると思います。今ではシステム開発だけでなくPC作業がメインの営業職も在宅勤務している方がいます。

もちろん、すべての方がテレワークすることが理想とは思いませんが、スタッフの方にもいろいろな状況があり会社での役割もある中で、お互いに歩み寄って一緒に成長していく環境ができれば、それは会社の大きな成長につながるものだと思います。

Operation Flow - テレワーク業務の流れ -



こんなツールを使っています

[Google Hangouts] (グーグル ハングアウト)

在宅勤務者と開発拠点にいるチームメンバーがミーティングを行う際はビデオ通話が可能なGoogle Hangoutsを利用しています。



テレワーク導入企業からのワンポイントアドバイス

優秀な人材には、正当な評価を

在宅勤務で見えないからといって制度だけを先行するのではなく、実際の業務にどれだけ貢献しているか、評価とは、そもそも業務の成果に対して準ずるべきだと考えています。優秀な人材に正当な評価をするために、会社が何をを用意できるか、どういった制度でバックアップできるかなどを考え、ともに歩んでいくという姿勢が大切です。

テレワークという言葉は、最近よく出る言葉かもしれませんが、在宅勤務などのニーズはずっと前から存在しています。昨今は、貸与機器やネットワークやクラウド環境に対するコストも下がっており、比較的簡単に導入できる制度だと思えます。ぜひ検討してみてください。

One Point Advice



人事部 採用チーム 課長 井口 業博 様